

mVPNプロファイルの概要

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[mVPN プロファイルの概要](#)

概要

このドキュメントでは、Multicast over VPN (mVPN) プロファイルの概要を示します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

mVPN プロファイルの概要

次の3つの図は、現在可能なすべてのプロファイルの概要を示しています。

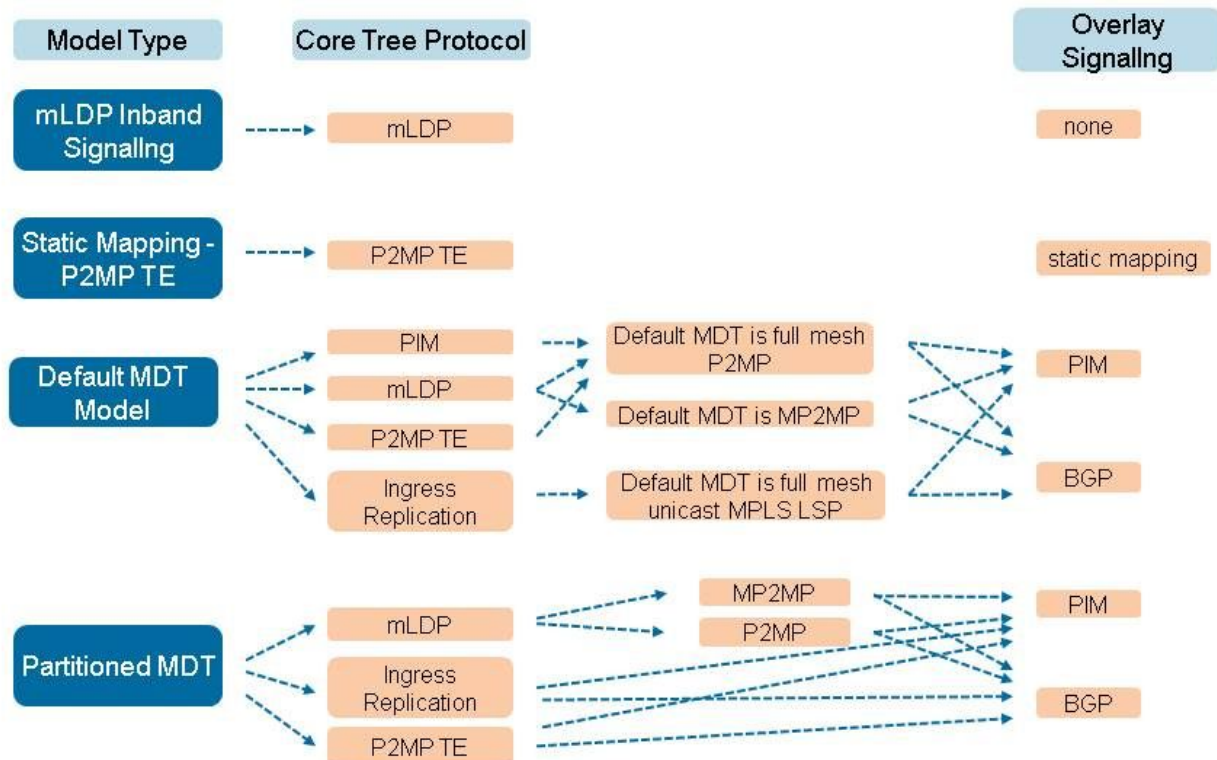
次の点に注意してください。

- コアネットワークでツリーを作成する可能性のあるテクノロジーをリストする列があります。
- 緑の線によって、実現可能なプロファイルがカプセル化によって、Generic Routing Encapsulation (GRE) またはマルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) カプセル化という、2つの組みに分割されています。
- 黄色の線によって、実現可能なプロファイルがそれらのコンテキストによって、グローバルコンテキストでのマルチキャスト、または Virtual Routing and Forwarding (VRF) コンテキストでのマルチキャストという、2つの組みに分割されています。
- それぞれに追加のレベルの Border Gateway Protocol (BGP) シグナリングがある、BGPシグ

ナリングなし(デフォルトMDT GREのIPv4マルチキャスト配信ツリー(MDT)を除く)、BGP自動検出(AD)、またはBGP ADとBGP C-MCASTシグナリング (オーバーレイでのマルチキャストのカスタマーシグナリング)。「追加の」レベルのBGPシグナリングとは、MPLS VPN 経路のユニキャスト (unicast over MPLS VPN) に常に必要なBGPシグナリングの他に追加するレベルのことです。

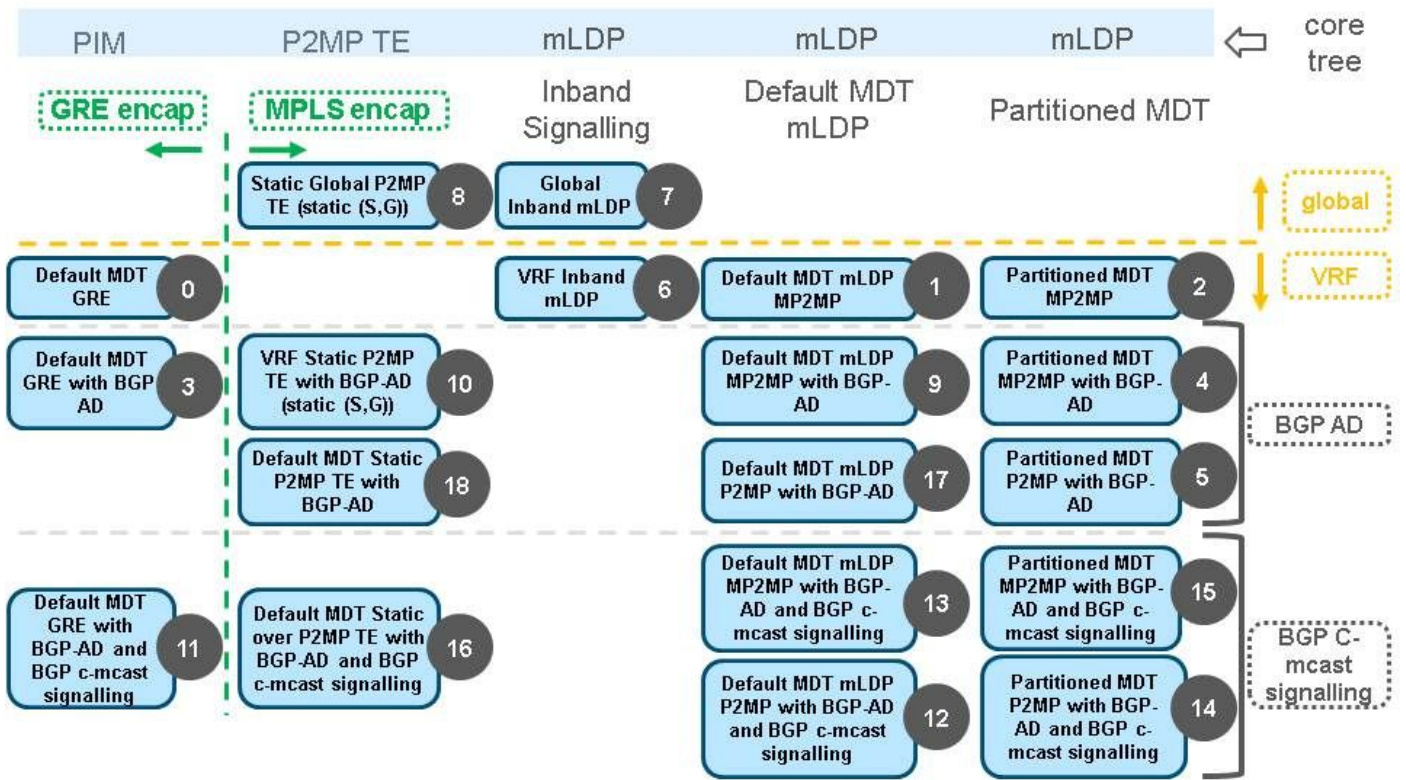
- 「Rosen」の名前を「Default MDT」に変更
- 0 ~ 26 までの番号が付いた合計 27 のプロファイルがあります。

図1は、MPLS上でマルチキャストを実装するさまざまな方法を示しています。コアツリープロトコルには4つのタイプがあります。PIM、mLDP、P2MP TE、および入力レプリケーション。オーバーレイシグナリング (またはコアツリーへのエッジでのマルチキャスト状態のマッピング) には、次の4つの可能性があります。none、static mapping、PIM、およびBGP。

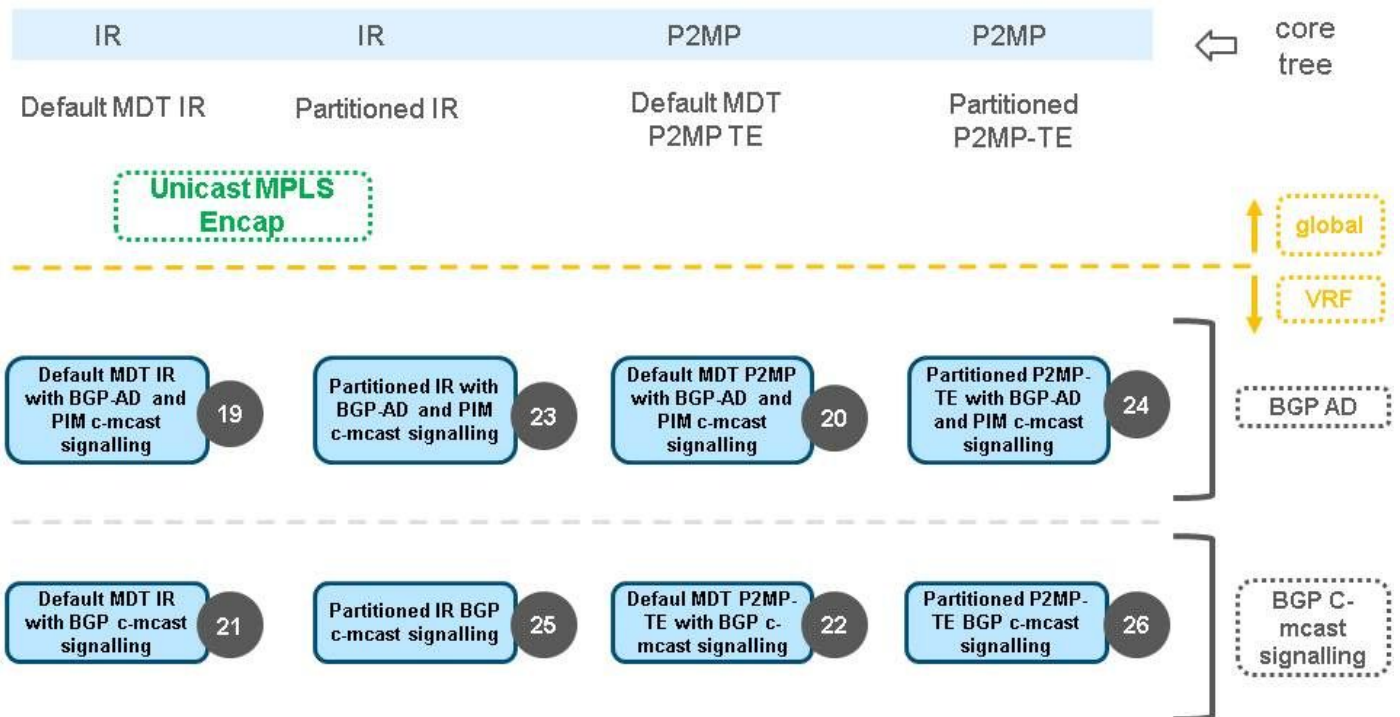


画像 1

図2と3は、mVPNプロファイルの概要を示しています。



画像 2



画像 3